

里山の別邸 下田セントラルホテルの 防災の取り組みについて

当館の防災対策における基本的な考え方は「お客様の安心安全を最優先でお守りすること」です。静岡県は南海トラフ大地震の被害想定を発表し、行政と民間企業が力を合わせて災害時の対応と事業継続計画を策定しています。

それに合わせて、当館も2018年以来年間計画の中で、防災に関する従業員教育、消防訓練を欠かさずに行っています。

また、台風による停電対策や新型コロナウイルス感染防止対策の構築など、お客様の安心安全に影響を及ぼしそうな事態を想定し、事前対応する様々な経験を積み重ねておりますので安心してご来館ください。



防災備品を客室に配備

全てのお部屋（39室）に防災備品を人数分常備。
内訳：懐中電灯・防災ずきん・手袋・マスク



災害時の備蓄

非常時の避難生活用品を揃えています。

- ・飲料水・非常用食品・簡易トイレ・非常用発電装置・スマホ充電用発電機
- ・避難テント等、お客様と従業員を合わせ3日間200名分を備蓄



帰宅支援マニュアル作成

お客様が帰宅困難時でも安心して帰宅できるように、台風による災害時などの経験を重ねて習熟しています。



従業員による防災訓練

ホテル休館日を利用して、災害を想定した消火訓練や避難訓練、お客様の安否確認訓練等を行っています。



複数の通信手段を確保

緊急時に有効な衛星電話を導入。LINEによる緊急連絡網も構築しました。
非常用パソコンも準備しています。



転倒防止策の実施

阪神淡路大震災の教訓から、建物による圧死を防止するため、危険物を固定する工事（240箇所）を施しました。



下田市との連携

ホテル敷地内のグラウンドを災害発生時の「緊急ヘリポート」として下田市と契約。「ドクターヘリ」のヘリポートとしても運用しています。